

望遠鏡観測部門報告 Report of Telescopic Meteor observations in January,2020. No.430

担当幹事 殿村泰弘 (Tonomura Yasuhiro) 宮城県富谷市 (Tomiya-shi Miyagi-pref,Japan)

2020年1月の望遠鏡観測の結果を(表-1)に示します。今月は、寺迫氏から観測報告がありました。

観測者 Observer	観測地 Locality	夜数 Night	時間 Time	流星数 Meteor			備考 Remarks
				Plot	S' n	Total	
寺迫 正典 (Terasako Masanori)	静岡県浜松市北区 (Hamamatsu shizuoka-pref)	4	230	33	28	61	25cm×51 1.4° L.T. 15cm×25 2.7°Bino. 10cm×28 2.5°Bino.
2020年1月計		4	230	33	28	61	HR 15.9

(表-1) 2020年1月望遠鏡観測結果

Table 1 Summary of the Telescopic Meteor observations in January,2020

● 出現数変化

2020年1月の出現数変化を(表-2)に紹介します。

日	開始 JST	終了 JST	分	中央時	UT	観測方向 (Direction)	Plot	Seen	Total	HR	Mag	See	CI	観測者 (Observer)
4	27	35	27	50	15	4.780	4	0	4	16.0	12.5	vG	10cm Bino. *28	寺迫 (Terasako M)
4	27	55	28	10	15	4.793	6	0	6	24.0	12.5	vG	10cm Bino. *28	寺迫 (Terasako M)
4	28	15	28	30	15	4.807	10	0	10	40.0	12.5	vG	10cm Bino. *28	寺迫 (Terasako M)
4	28	35	28	50	15	4.821	8	0	8	32.0	12.5	vG	10cm Bino. *28	寺迫 (Terasako M)
4	28	55	29	10	15	4.835	5	0	5	20.0	12.5	vG	10cm Bino. *28	寺迫 (Terasako M)
4	29	20	29	55	35	4.859	-	4	4	6.9	11.0	rG	15cm Bino. *25	寺迫 (Terasako M)
15	18	8	18	56	45	15.397	-	4	4	5.3	10.5	M	15cm Bino. *25	寺迫 (Terasako M)
20	18	18	18	53	35	20.400	-	2	2	3.4	10.0	rP	15cm Bino. *25	寺迫 (Terasako M)
21	18	19	18	59	40	21.402	-	18	18	27.0	12.0	rG	25cm L.T. *51	寺迫 (Terasako M)
4 Night							230 Min.	33	28	61	15.9			

(表-2) 2020年1月の望遠鏡流星の出現数変化

Table 2 Telescopic Meteors Observational data in January, 2020

● 光度分布

2020年1月の望遠鏡流星の光度分布は、(表-3)に示すとおりです。

	-5.0	-3.0	-2.0	-1.0	0.0	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0	11.0	12.0	13.0	L-Mag	Total	Avg Mag.
寺迫 (Terasako.M)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	11	9	5	0	10.0 - 12.5	28	10.46
Total	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	11	9	5	0		28	10.46

(表-3) 2020年1月の望遠鏡流星の光度分布

Table 3 Magnitude distributions of the Telescopic Meteors in January, 2020

(表-4) 2020年1月の望遠鏡流星の各夜の光度分布(寺迫氏)

Table 4 Magnitude distributions of the Telescopic Meteors in January,2020(Terasako)

Date(UT)	6.0	9.0	10.0	11.0	12.0	L-Mag	Total	Avg Mag.
4.780		1		1	2	12.5	4	11.00
4.793			2	1	3	12.5	6	11.17
4.807		1	1	4	4	12.5	10	11.10
4.821	1		1	3	3	12.5	8	10.63
4.835		1	1	1	2	12.5	5	10.80
4.859	1	1	2			11.0	4	8.75
15.397		1	3			10.5	4	9.75
20.400			2			10.0	2	10.00
21.402			4	9	5	12.0	18	11.06
Total	1	2	11	9	5		28	10.46

寺迫氏から、1月の観測についてのコメントが寄せられていますので、以下に紹介します。

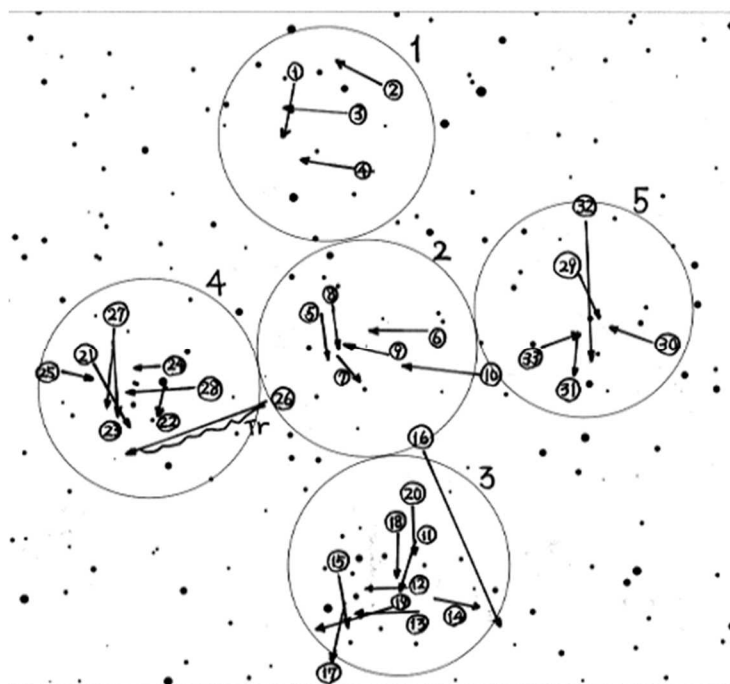
1月は例年になく気温が高く、天候不順な日が続きました。観測の方ですが、“しぶんぎ座流星群”を除き、夕方における観測のみとなり、自称ゼニス・クロスの北方向観測以外は彗星捜索中における望遠鏡流星の観測となりました。“しぶんぎ座流星群”の話題に移りますが、送信した“プロット図”と“流星観測記録用紙”のデータを対比させながら説明

します。今観測は、稀に見る好天に恵まれ、最微光星12.5等(北極標準星野)を見る観測となりました。プロット図の外円付近の番号が観測した視野の順番で、○印のなかの番号が観測流星の順番となります。特に、⑯番9等、26番6等(短痕あり)は長経路で、しかも輻射点方向から流れてきましたので、ほぼ“しぶんぎ座流星群”に間違いのないと思われます。その他⑮番⑯番⑳番?番?番は輻射点方向から流れていますが、確信は持てません。また、2番の視野プロット図は輻射点を含む2.5°の範囲ですが、ここに出現した⑤番から⑩番までの流星が果たして“しぶんぎ座群

”の流星なののかも確信が持てません。引き続きデータの蓄積が必要かと考えます。

※ 幹事注 寺迫氏からのメールでも？の部分文字化けして、図などを見ても判断つきかねています。ここではそのまま紹介しています。一部は幹事が修正したところもあります。

(図-1)プロット図 (figure-1) Plot chart by Terasako



● 幹事から

寺迫氏から興味深い資料をいただきましたので、できるだけ公開してみなさんからのご意見をいただきたいと思ひます。

個々の流星のデータを併せて紹介しますので、プロット図と照合することで、短経路の流星が比較的暗い流星という傾向が分かるかもしれません。

また放射点付近を見ても、放射点から出現しない流星も多いが、別の群と判断するか、それとも放射点の広がりと考えるのか。興味が尽きないところです。

なお幹事も4月以降、時間にゆとりができる見込みですので、15分ずつでなく、30分の3セットを基本に「一人トライアングル観測」にトライしてみたいと思ひます。

流星観測記録用紙			
年月日：2020-1/4			
観測開始：27h35m			
観測終了：29h10m			
観測時間：75m			
望遠鏡：10cm双眼鏡(28x、2.5°)			
視相：vG 最微光星：12.5			
R・P：α° 230.0、δ+49.5 しぶんぎ(群)			
No	出現時刻	光度	備考
1	27h38m	11	
2	41m	9	
3	44m	12	
4	47m	12	
5	57m	12	
6	28h01m	12	
7	03m	10	
8	05m	12	
9	04m	11	
10	08m	10	
11	16m	12	
12	17m	12	
13	18m	11	
14	20m	11	
15	21m	11	
16	22m	9	
17	25m	10	
18	26m	12	
19	27m	11	
20	29m	12	
21	37m	12	
22	38m	12	
23	40m	12	
24	41m	11	
25	43m	10	
26	43m	6	Tr(痕)
27	45m	11	
28	49m	11	
29	58m	12	
30	59m	10	
31	29h09m	11	
32	05m	9	
33	09m	11	